

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	オーディナンス・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.540	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：オーディナンス・パール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ドリフト

フレアーの幅 インチ

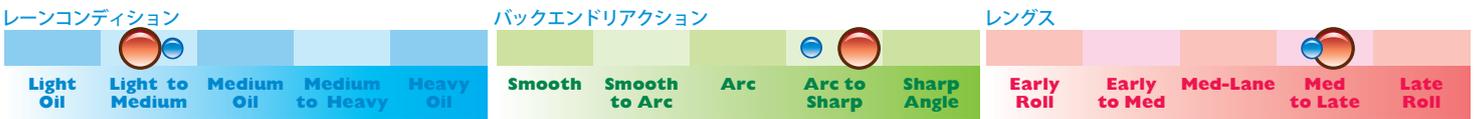
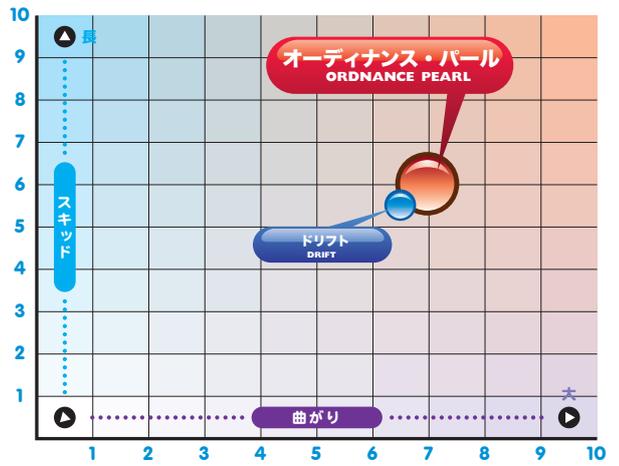
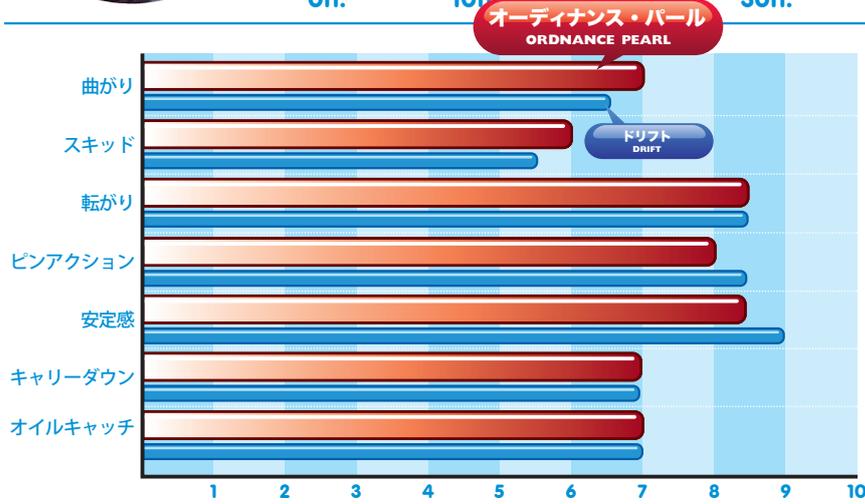
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



ボールの評価

2016年8月にミディアムライトの決定版DRIFTが発売されました。S62Hybridカバーストックで当時トーナメントでもフランチャイズのコンディションでも人気の高かったボールでした。発売後完売ながらも再販せずにもたの機会を伺っていましたが、ついに今回、Ordnance Pearlとして再び手にすることができます。DRIFT当時のコア名はHula Symmetricでしたが今回の名称はProjectile Symmetric。RG、△RGも変わらず、DRIFTのS62 HybridからS70 Pearlへと変化させ、今回もミディアムライト領域を魅了します。S70カバーストックは最近主流で使われているハニーバジャー系のS71よりも走るカバーで、その領域でもPearl素材ですのでスキッドを得られやすいのは想像が付きやすいです。実際に投球してみると、想像よりは少しスキッドが先行するようです。S70でも思っている以上よりも遅くなってからのコンディションで有効に使えると感じました。やや手前が薄くなり始めたエリアでも十分スキッドが得られたこと、またキャリアダウンに左右されやすい状況とグリップする感じがかなり削られた場所でないプレーキがかり辛い状況を総合的に判断すると、対応コンディションはMedium Lightが主であり、やや遅めになってからの攻め具合は、向きの変わり方から入射角の出方まで申し分ないリアクションをみせ、ピンの飛び方も強さも感じました。プレーキがかり始めてしまえば曲がるイメージも取れるのですが、オイルを感じやすいので全般的に後半からラストに中心的に使うボールとなるでしょう。中盤に使用するボールは皆さん多く持っていることでしょう。そのあとオイルが削られ中目に入って来たとき、走り感と入射角がでるスペックを持ちたくなくなるラインが出てきます。走り感を重要視したい、またはスピードに課題があり、曲がり先行してしまうボウラーにも気に入って使用して頂けるでしょう。

特記事項

DRIFTのコアでS70 Pearl。走り重視で後半最終シフト勝負できるボールの発売です。手前がかなり軽いので、女性の方やスピードに課題のある方は積極的に使用して頂きたいです。